

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ねたきり老人等介護者手当支給事業	所管	保健福祉部 高齢者支援課
			Tel 2998-9120

事業の目的 (何の為に 行うか)	従前は、家族がねたきりや認知症高齢者を介護することは当然のこととされてきたが、近年では核家族化・介護の長期化が進み介護者の身体的・精神的負担は、計りしれない。そこで、手当の支給を行い、その負担感を軽減するものである。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	65歳以上の常時(6ヶ月以上)臥床またはこれに準ずる状態の高齢者を介護している家族。	対象とした数	1,100	人
		実際に 利用した数	252	人

活動の内容	(何を したか)	11月1日を支給基準日とし、ねたきり又は認知症の高齢者を在宅で介護している家族に対し地区担当民生委員が訪問し、申請手続きを行う。審査決定後12月中に手当支給する。							
活動実績	項目名	対象者数	1100	項目名	支給者数	252	項目名	単位	単位
			----- 単位 人			----- 単位 人			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	6,400	6,440	6,440	19.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	支給達成率	支給者数/申請者数	273	252	92.3
			----- 単位 人	----- 単位 人	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]							
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止			
	予算	現状どおり		* 増額		減額		終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他 [ ]	終了
	予算	現状どおり		増額		減額		終了

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当部課	部課コード	040400	TEL	2998-9120
	040412	ねたきり老人等介護者手当支給事業	保健福祉部	高齢者支援課		
開始年度	平成 8 年度	→	終了年度	平成 年度		
			グループ	高齢者支援グループ		

②事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	所沢市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			
関連・類似事業	ねたきり老人事業			
総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	3節 高齢者福祉
			中柱	1 いいきと暮らすための支援・サービスの充実
			小柱	(3) 保健・福祉・医療サービスの充実
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 1 位		実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	

行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード	市民の知りた情報提供	コード	
事業開始の背景	在宅でねたきり又は重度の認知症高齢者を介護しているものに対し、手当てを支給することにより介護の労をねぎらい、その負担を軽減するために導入された事業である。なお平成15年度より支給額を30,000円から20,000円に減額した。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	従前は、家族がねたきりや認知症高齢者を介護することは当然のこととされてきたが、近年では核家族化・介護の長期化が進み介護者の身体的・精神的負担は、計りしれない。そこで、手当の支給を行い、その負担感を軽減するものである。
	対象(誰を、何を対象としているのか)	65歳以上の常時(6ヶ月以上)臥床またはこれに準ずる状態の高齢者を介護している家族。
	利用数の考え方	対象数 単位
		平成 18 年度 1,155 人
		平成 19 年度 1,100 人
	利用数 単位	平成 18 年度 299 人
		平成 19 年度 252 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	11月1日を支給基準日とし、ねたきり又は認知症の高齢者を在宅で介護している家族に対し地区担当民生委員が訪問し、申請手続きを行う。審査決定後12月中に手当支給する。

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価	<input checked="" type="checkbox"/> 一次評価	<input type="checkbox"/> 二次評価
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点	支給額については、平成20年度→3万円(年間)／平成21年度→4万円(年間)に支給額を変更すべく要綱の改正をおこなった。なお、民生委員の訪問による申請手続きは取りやめ、随時窓口にて申請を受け付けることで、民生委員の負担軽減を図った。		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		7,000	6,400	9,674
	決算(見込み含む)		6,051	6,440	
	(嘱託職員)(臨時職員)	( 人 )	( 0.05 人 )	( 人 )	( 0.13 人 )
	正規職員人件費	人	0	人	0
	公債費				
	事業費合計		6,051	6,440	
	財源内訳	一般財源	6,051	6,440	9,674
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		17.9	19.0	
	利用者一単位あたり(単位:円)		20,237.5	25,555.6	

⑥指標	項目名	対象者数	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	299	要援護高齢者調査による在宅で寝たきりの高齢者の方が対象	人	1155	1100	1133	
	成果分析	299	支給者数	人	299	252	213	
		299	支給者数/申請者数	人	320	273	25	
	93.7	達成率	%	93.7	92.3			実績値の拡大を図る 1 実績値の縮小を図る 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	見直しの必要性
	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	将来的には寝たきり手当ての制度を廃止とし、介護者手当てが主流となる。この趣旨を介護者に理解していただくために、包括支援センター等の機関や・広報とこざわ等を通じて理解を求めていく必要がある。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	介護保険との整合性を図り適切に支給判定をする。		平成21年3月
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )		
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )		
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	寝たきりの高齢者を抱える介護者の負担は大きいものがあることから支給額を増額して給付することで、制度の充実を図ることは、適切であると判断される。なお、一方で将来的(平成22年度)にねたきり老人手当が廃止となることから、同事業との統合を図り、制度の充実を図ったことについては、対象者に対して理解を求めていく必要がある。		
	評価日	平成20年5月2日	記入者職氏名	高齢者支援課長 鏡 諭

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
年度用事前評価	次年度	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		評価理由						
		評価日						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
	主要課題			
	施策の方向			